

世界農業遺産（GIAHS）とは？

○ 世界農業遺産（Globally Important Agricultural Heritage Systems／GIAHS：シアス）は、2002年（平成14年）、食料の安定確保を目指す国際組織「国際連合食糧農業機関」（FAO、本部：イタリア・ローマ）によって創設されたプロジェクトです。その背景には、近代農業にみられる過度な生産性偏重が、世界各地で環境問題や生物多様性、その地域の固有の文化や景観などが失われてきたことが挙げられます。

世界農業遺産の目的は、地域環境を生かした伝統的農法や、生物多様性、農村文化、農村景観が守れた土地利用などを「農業のシステム」として一体的に維持し、次世代に継承していくことを目指しています。

○ 世界農業遺産／関連サイトはこちらから

- * [国際連合食糧農業機関（FAO）](#)
- * [国際連合大学（UNU）](#)
- * [国際連合大学サステナビリティと平和研究所（UNU-ISP）](#)
- * [国際連合大学高等研究所（UNU-IAS）](#)
- * [農林水産省](#) ⇒ [世界農業遺産ページ](#)